

[江別市] 施策達成度報告書

政策 03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実

施策 03 子育て環境の充実

主管課：子育て支援室子ども家庭課

施策の目的

子育て環境を充実させることで、全ての子どもたちが健やかに育ち、また就業と子育ての両立ができ、安心して子どもを産み育てられるまちを目指します。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

乳幼児、児童、保護者、地域住民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健やかに子どもが育てられる</li> <li>・就業と子育てが両立できる</li> </ul>
-----------------	---

施策の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期目標値
子育てしやすいと思う保護者の割合	%	57.4	64.0	-	61.2	59.4	62.8	↗
次世代育成支援サービスの延べ利用者数	人	59,031	58,366	60,615	65,508	65,670	71,554	65,000

施策の達成状況(25年度)

子育てしやすいと思う保護者の割合は、計画期間中では21年度に次ぐ高い数値となっているものの、今後も引き続き未就学児から学齢期児までの継続的な支援や支援を必要とする家庭等への対応について充実させていく必要がある。

次世代育成支援サービスの延べ利用者数は、これまでも順調に増加してきたが、平成25年度においても後期目標値を大きく上回り、特に延長保育事業、地域子育て支援センター事業の利用実績が伸びている。今後も保護者、地域、関係機関と連携を図りながら、保育事業、放課後児童健全育成事業、地域子育て支援センター事業をはじめとした子育て支援事業を更に充実させ、子育て環境の充実を図っていく必要がある。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	3,421,177	4,735,686	4,731,042	4,628,891	4,510,412
事業費(千円)	2,752,018	4,094,190	4,089,836	3,986,883	3,884,278
人件費(千円)	669,159	641,496	641,206	642,008	626,134

## 基本事業

### 01 地域子育て支援の充実

#### 基本事業の目的

身近なところで子育てに係る様々なサービスの情報や相談、支援を受けることができ、安心して子育てができるようにします。また、支援を必要とする子どもや家庭に対して、地域を中心としたネットワークを構築することで孤立を防ぎ、支援機関の連携を図ります。

#### 対象(誰を対象とした指標か)

#### 意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

乳幼児、児童、保護者、地域住民、子育て関係機関

・子育てに係る様々なサービスの情報や相談、支援を受けることができ、安心して子育てができる。  
・支援を必要とする子どもや家庭に対して、孤立を防ぎ、支援機関の連携を図る。

#### 基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期目標値
地域子育てサービスの利用者数	人	16,400	14,871	15,849	17,569	15,813	18,029	17,000
家庭児童対策地域協議会参加延人数	人	202	199	155	185	224	224	300

#### 基本事業の達成状況(25年度)

子育て支援センターや子育てサロン事業などの地域子育てサービスの利用者数は、昨年度は減少したものの、新設した子育て支援センターの周知等の情報提供や地域子育てひろば事業の拡充などにより、利用者も増加し、後期目標値に達した。今後も各子育て支援センターとの連携を強化するとともに利用者に向けた情報の提供や多様化する子育てニーズの把握に努めながら、引き続き事業を推進していく必要がある。

児童虐待の恐れがあるケースについて、関係機関で協議する家庭児童対策地域協議会は、参加延べ人数は横ばいではあるものの、開催回数は昨年度より増えており、今後も個別相談での対応はもとより、更に関係機関の連携強化を図るべく当該協議会を積極的に活用していくこととする。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	1,013,110	366,935	253,519	1,673,569	323,249
事業費(千円)	953,114	314,303	197,498	1,600,783	249,181
人件費(千円)	59,996	52,632	56,021	72,786	74,068

基本事業の目的

子どもたちが、幼児教育や保育等を受ける機会の充実を図ります。また、サービスの多様化、充実を図ることで安心して子どもを預け働くことができます。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

乳幼児、保護者、幼稚園、保育所等

・幼児教育や保育等を受ける機会の充実とサービスの多様化、充実を図ることで子どもを預け、働くことができる。

基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期目標値
幼児教育・保育サービス利用率	%	53.5	54.6	55.7	58.5	59.6	59.5	55.0
保育所待機児童数	人	7	9	10	4	1	34	0

基本事業の達成状況(25年度)

幼稚園や保育所などの幼児教育・保育サービスの利用率は、ほぼ横ばい状態であるが、平成22年度以降後期目標値に達した状況が続いている。ただし、待機児童については、昨年度に比べ、女性の社会進出や育児休業期間の満了などから0歳～2歳児までの低年齢児を中心に大幅に増加し、後期目標値に達しなかった。待機児童については、本市の就学前児童数は減少する中、今後も増加することが予測されるものの、保育施設の新設による保育供給量の確保が難しいことから、小規模保育事業等の新たな取り組み等により、解消を図っていく必要がある。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	1,617,530	1,808,666	1,687,522	1,839,346	1,725,423
事業費(千円)	1,066,706	1,274,933	1,156,040	1,322,153	1,232,422
人件費(千円)	550,824	533,733	531,482	517,193	493,001

基本事業の目的

地域の中でいろいろな人たちとの交流や支援のもと、児童が安全に過ごすことができる育成環境を整えます。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

児童、保護者等	・児童が安全に過ごすことができる。
---------	-------------------

基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期 目標値
放課後児童会・児童クラブ待機者数	人	23	0	0	0	0	0	0
児童センター利用者数	人	68,980	57,971	49,875	47,460	42,852	43,917	70,000

基本事業の達成状況(25年度)

放課後児童会・児童クラブ待機者数については、定員を上回る入会希望があった場合においても、運営に支障が出る場合以外は可能な限り受け入れており、年度当初において待機者は発生していない。

児童センターにおける利用者数は、前年比では、1,065人、児童1人当たりの平均利用日数で6.7日から7.1日に増えているものの、主たる利用者である7～12歳の児童数がここ数年約200人ずつ減少していること等により計画期間内においては減少しており、今後においても子どもの自主性を尊重しながら、子どもたちが参加しやすい事業を実施することで、利用者数及び利用日数の増加を図っていく必要がある。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	138,448	136,322	138,271	140,460	138,158
事業費(千円)	128,489	126,650	129,041	131,241	126,829
人件費(千円)	9,959	9,672	9,230	9,219	11,329